

コスモ石油株式会社

新・連結中期経営計画

(2005年度～2007年度)

2005年5月18日

代表取締役社長：木村 彌一

常務取締役：近藤 直正

本日のご説明内容

新・連結中期経営計画の全体方針

1～8ページ

新中計 部門別の施策

施策-1～
施策-6ページ

新中計初年度の見通し
(2005年度業績見通し)

初年度-1～
初年度-3ページ

経営環境 認識

- ①需要動向
 - ・国内需要構造の変化(C重油の減少)
 - ・アジア・太平洋の需要拡大(原油、石油製品、石化製品)
- ②国内マーケット
 - ・需給タイトながら、マージン低下リスクは依然存在(セルフSS等)
- ③合理化余地の縮小

新中期計画基本方針

安定した経営基盤の確立

- ①収益基盤の強化
 - 合理化から付加価値創出力強化への転換
(精製付加価値向上、流通構造改善、関係会社収益改善)
- ②財務体質の強化
 - 収益環境変化リスク／大型投資に耐える財務体質の確立

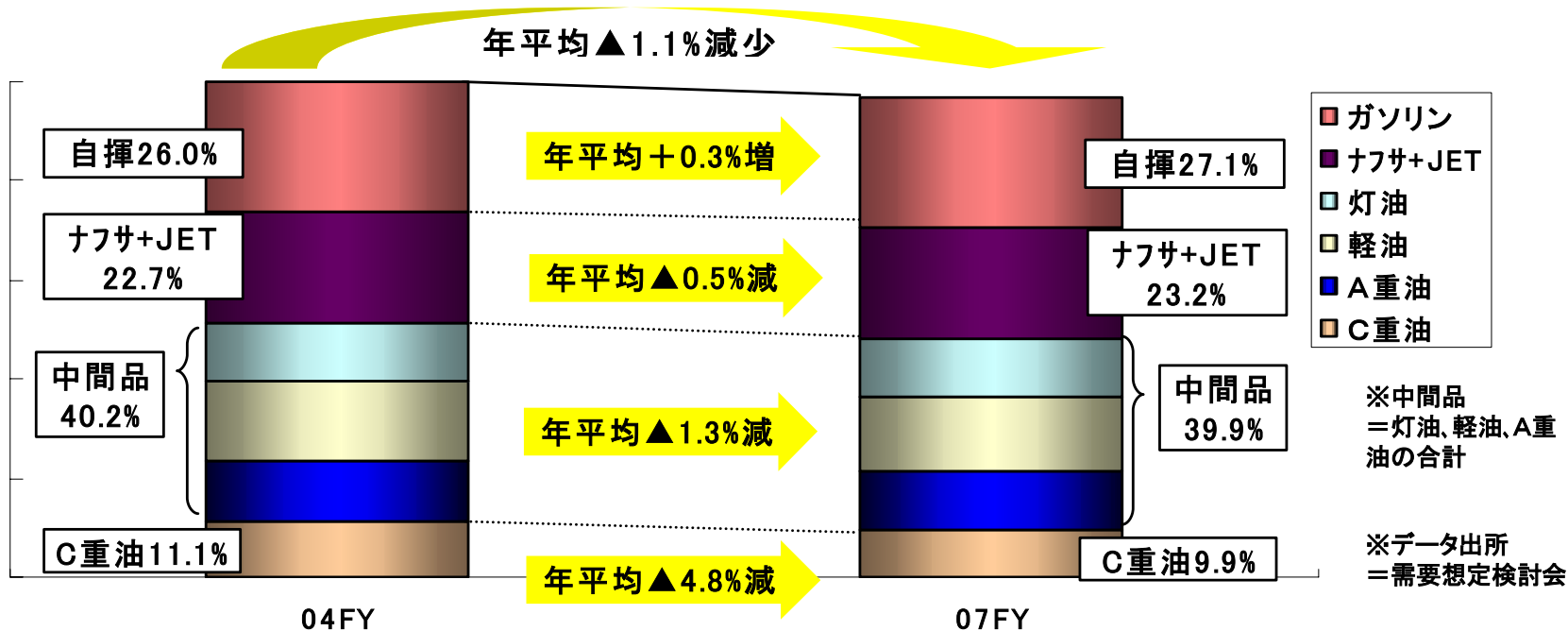
成長戦略への転換

- ①製油所収益力の強化
 - 投資を中心とした製油所高度化
- ②事業領域の拡大
 - 原油開発、石油化学事業における規模拡充

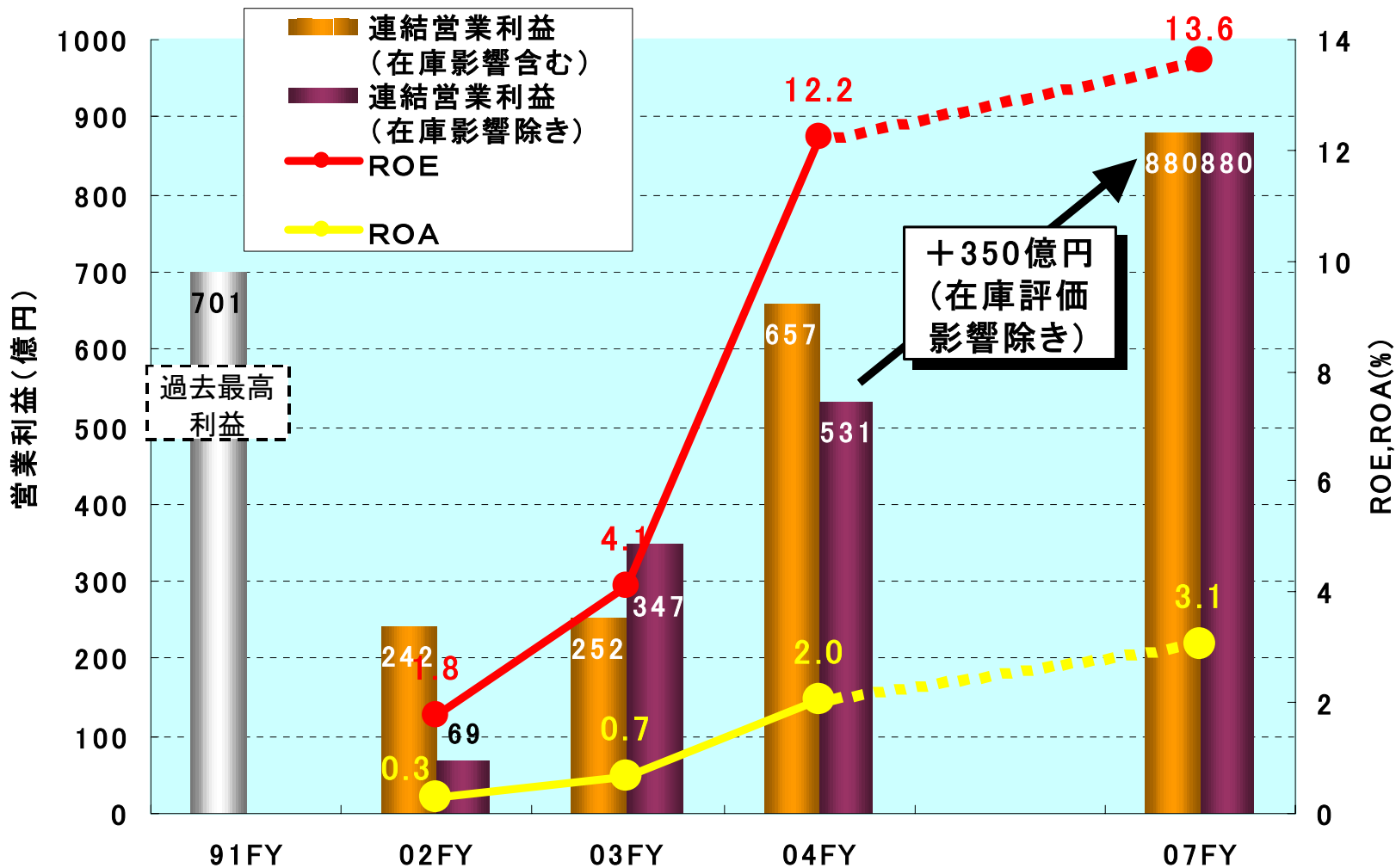
《原油価格の見通し》

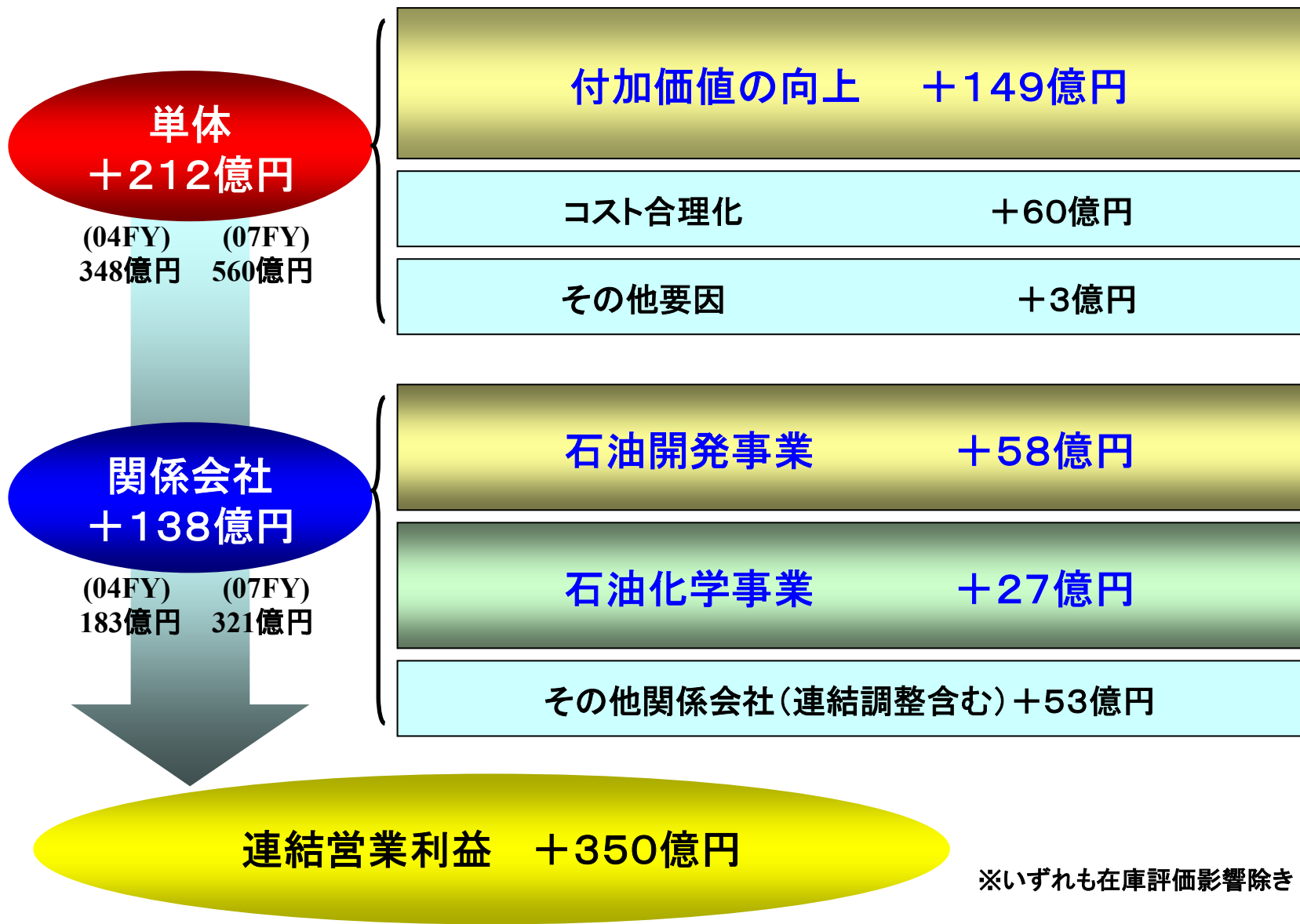
項目	単位	2004年度実績			想定		
		上期	下期	年度	05年度	06年度	07年度
ドバイ原油	\$/B	34.8	38.4	36.6	38.0	32.0	32.0
為替(TTM)	円/\$	109.9	106.2	108.0	105.0	105.0	105.0
ドバイ原油(円価)	円/L	24.1	25.7	24.9	25.1	21.1	21.1

《石油製品需要の見通し》



2007年度営業利益目標...880億円
(04FY比+350億円。在庫影響除き)





2005～2007年度合計：1,400億円
(戦略投資比率：71%)

《連結・設備投資計画》

区分	部門	05～07FY合計 (億円)
戦略投資	販売(セルフSS投資)	150
	石油開発	300
	供給(MX事業)	40
	供給(製油所付加価値向上)	400
	その他	100
小計		990
維持更新等		410
投資額合計		1,400
戦略投資比率		71%

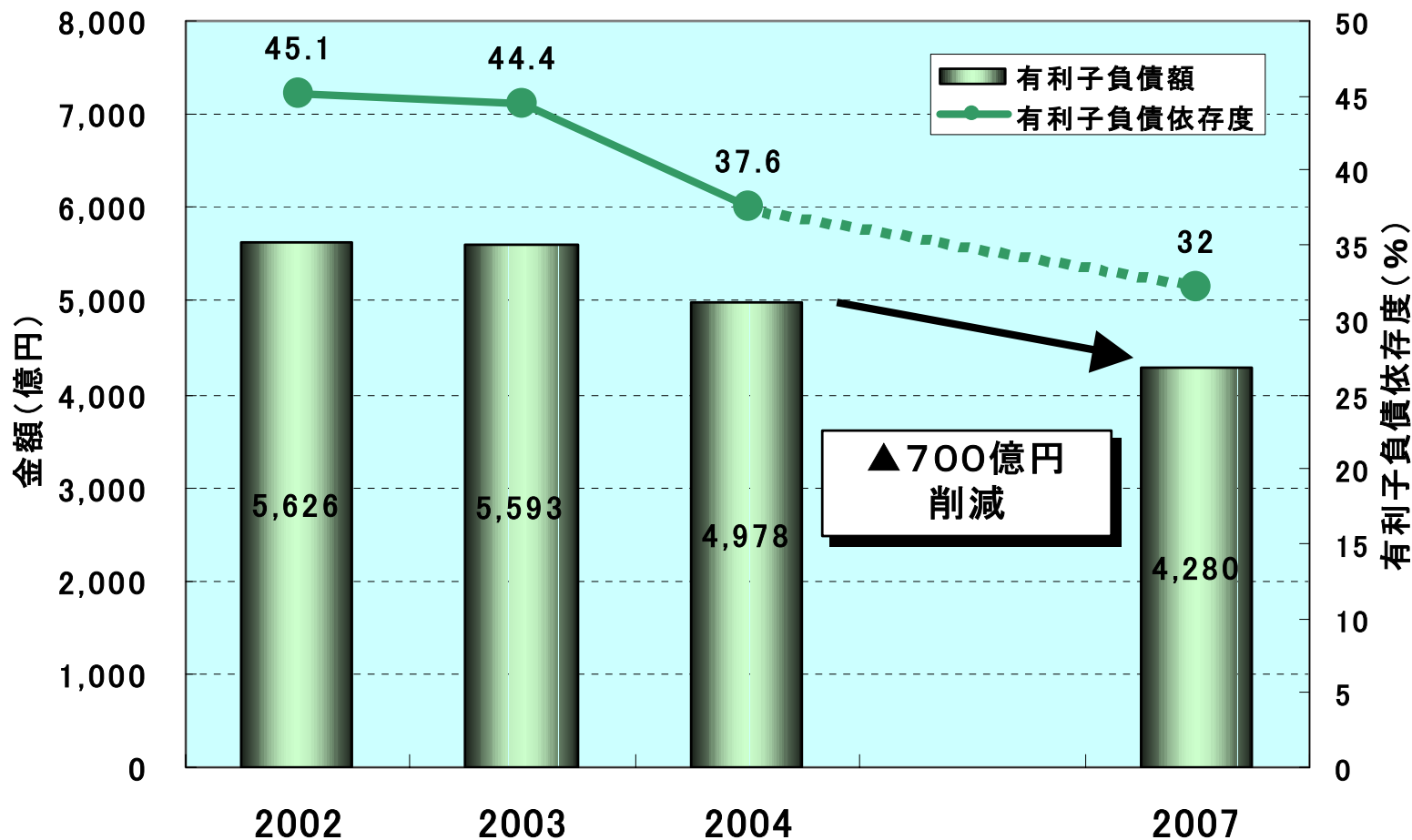
《部門別内訳》

部門	05～07FY合計 (取得ベース。億円)
販売	220
供給	610
石油開発	300
その他	270
合計	1,400

※取得ベース
※MX=ミックスキシレン

減価償却費	910
-------	-----

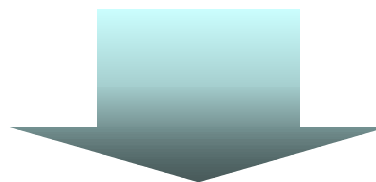
2007年度末目標: 4,280億円
(04FY比 ▲700億円削減)



《05FY～07FY 合計キャッシュフロー》

※単位:億円

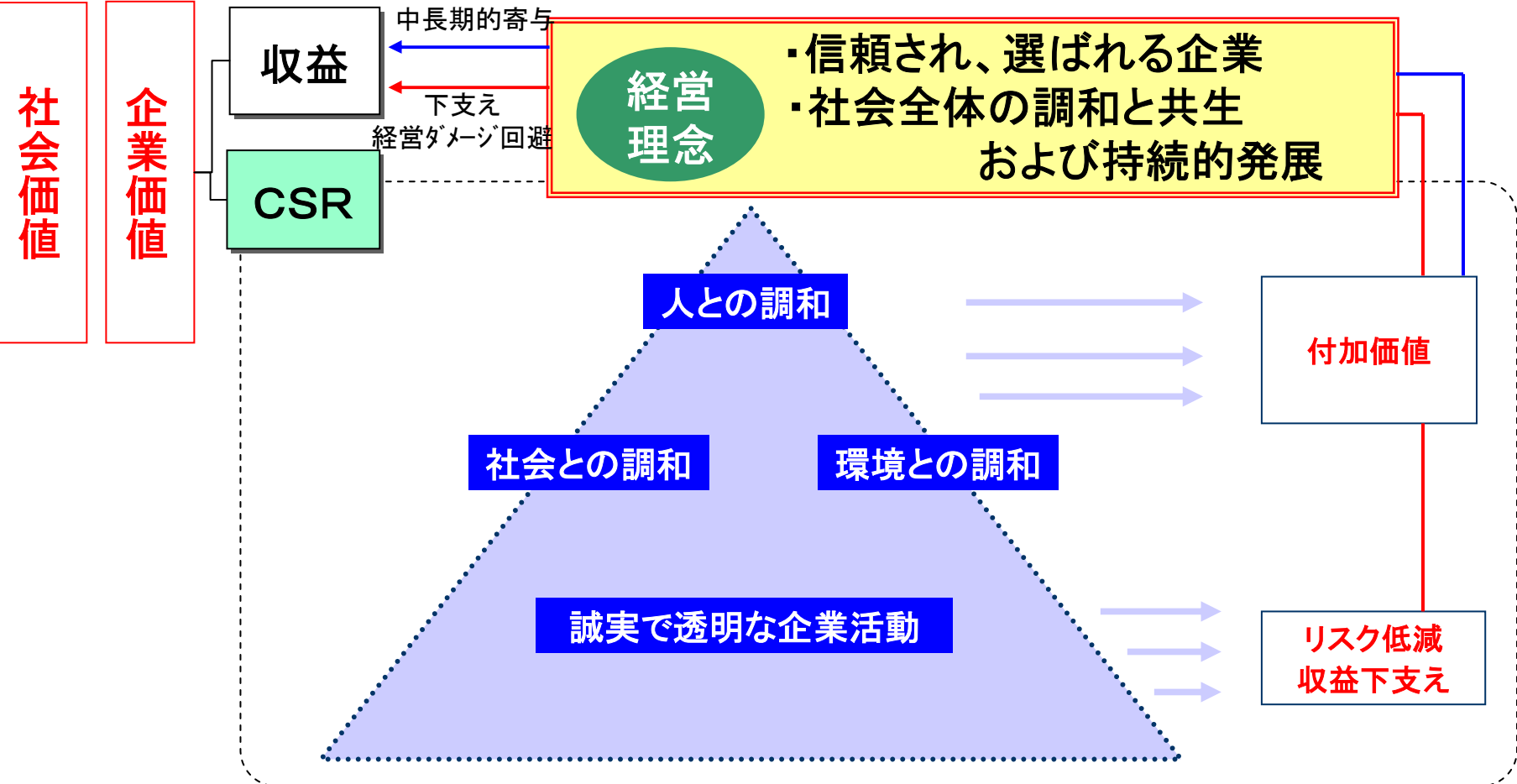
キャッシュイン	利益	減価償却費	その他
2,260	1,150	910	200



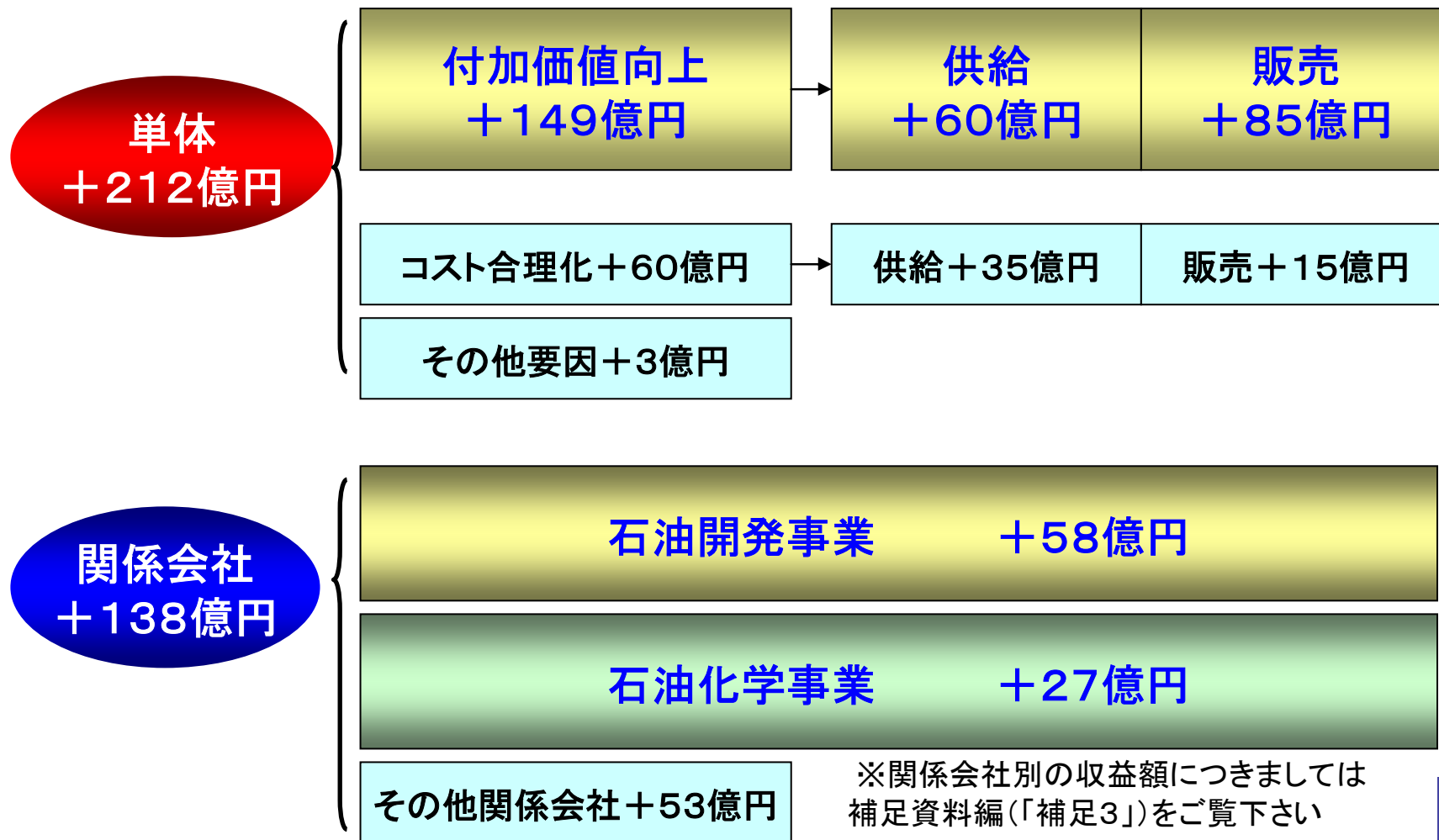
キャッシュアウト	設備投資	配当	有利子負債削減
2,260	1,400	160	700

※配当...8円/株を前提としております

CSRの推進は、安定した収益基盤の確立とともに、
グループの存続と社会の持続的発展に向けた経営の両輪



《07FY仕上がり 改善額》

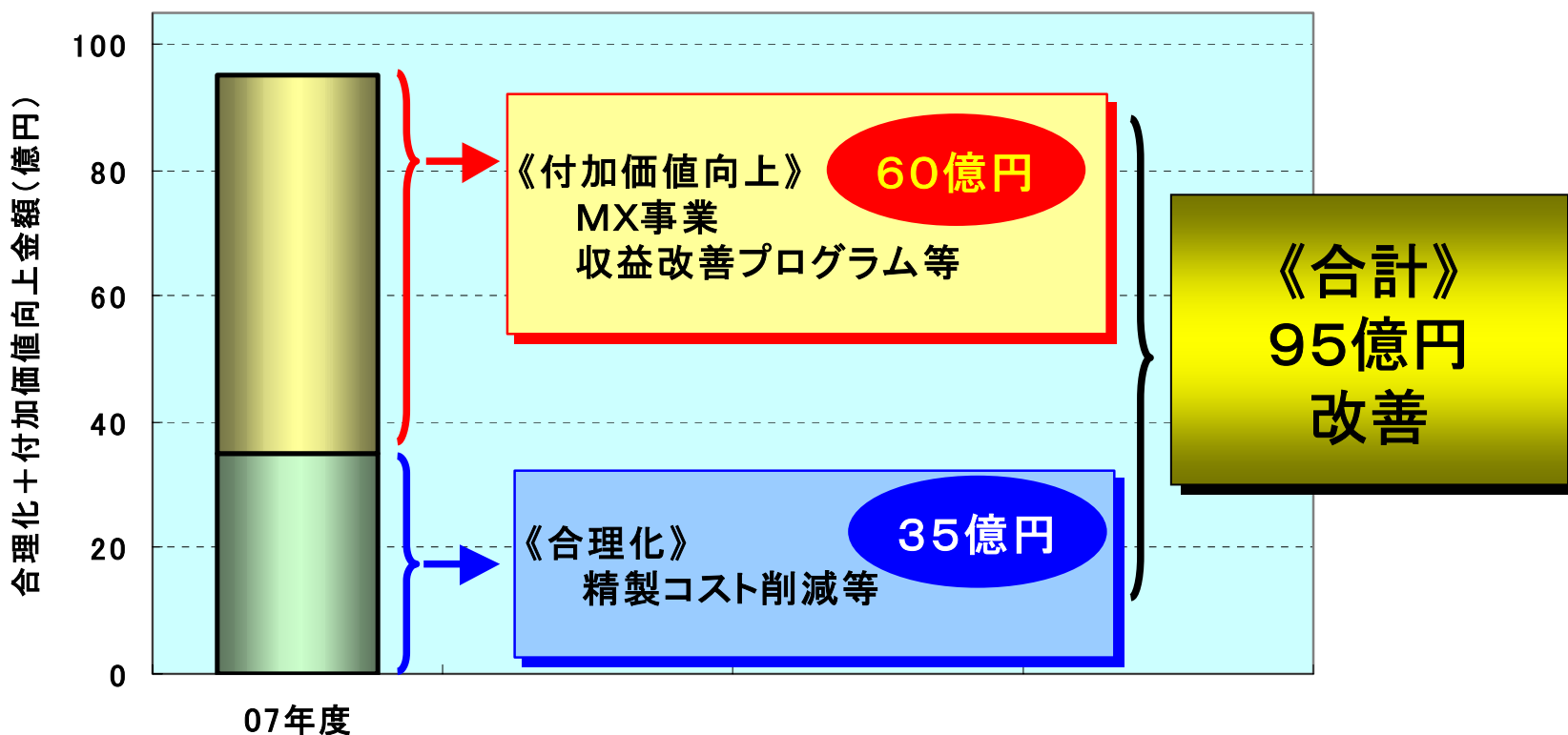


収益基盤の更なる強化

- ・付加価値の向上
- ・コスト合理化

将来の製油所高度化に向けた
基盤作り

合理化策より付加価値向上策で、改善効果を見込む



販路構成改善・油種構成改善・
マスチャネル強化の推進

改善金額100億円
(付加価値向上85億、合理化15億)

より収益性が高い油種・チャネル・
販路の増販に重点的に取り組み、
販売構造を改善する。

《強化ターゲット》

販路...

出資店・地場店

油種...

ガソリン・軽油

チャネル...

SS

《実行項目》

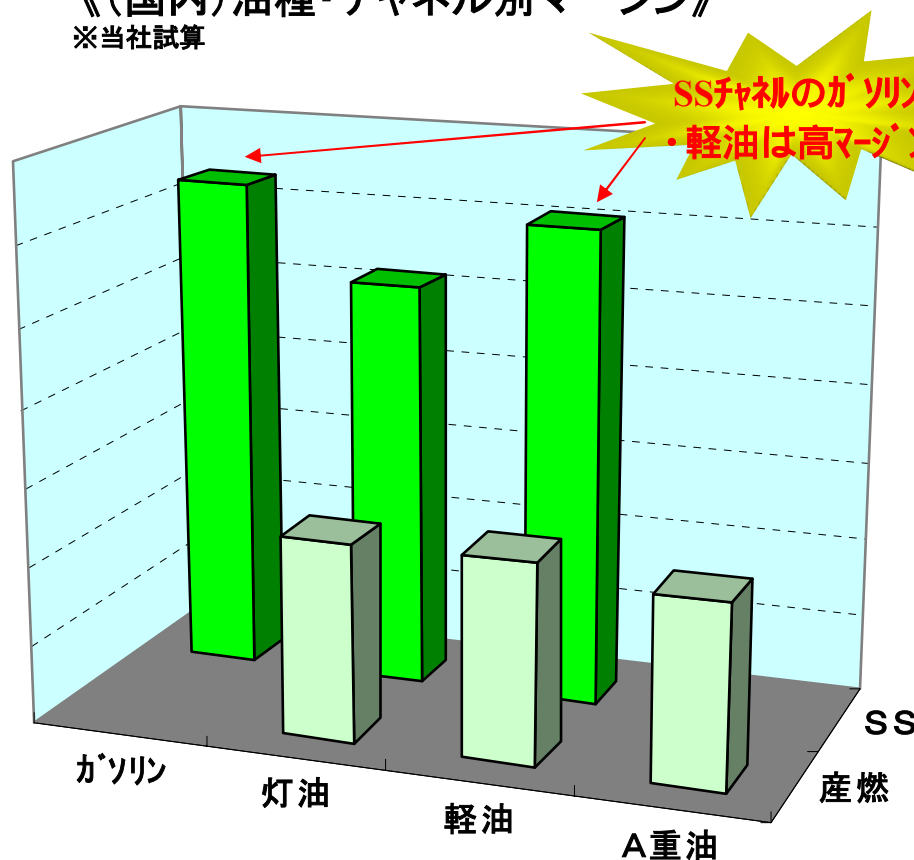
Auto B-cleネットワーク

セルフSS

コスモ・ザ・カード

特約店経営改善

《(国内)油種・チャネル別マージン》
※当社試算



出資店

強化戦略の継続

セルフSS

積極展開の継続
＋投資効率の更なる向上

Auto B-cleネットワーク

ネットワークの強化

コスモ・ザ・カード

積極発券の継続

ノウハウ
の
水平展開

地場特約店

パートナーシップの強化

セルフSS

積極展開
＋投資効率の更なる向上

Auto B-cleネットワーク

ネットワークへの参加

コスモ・ザ・カード

積極発券の継続

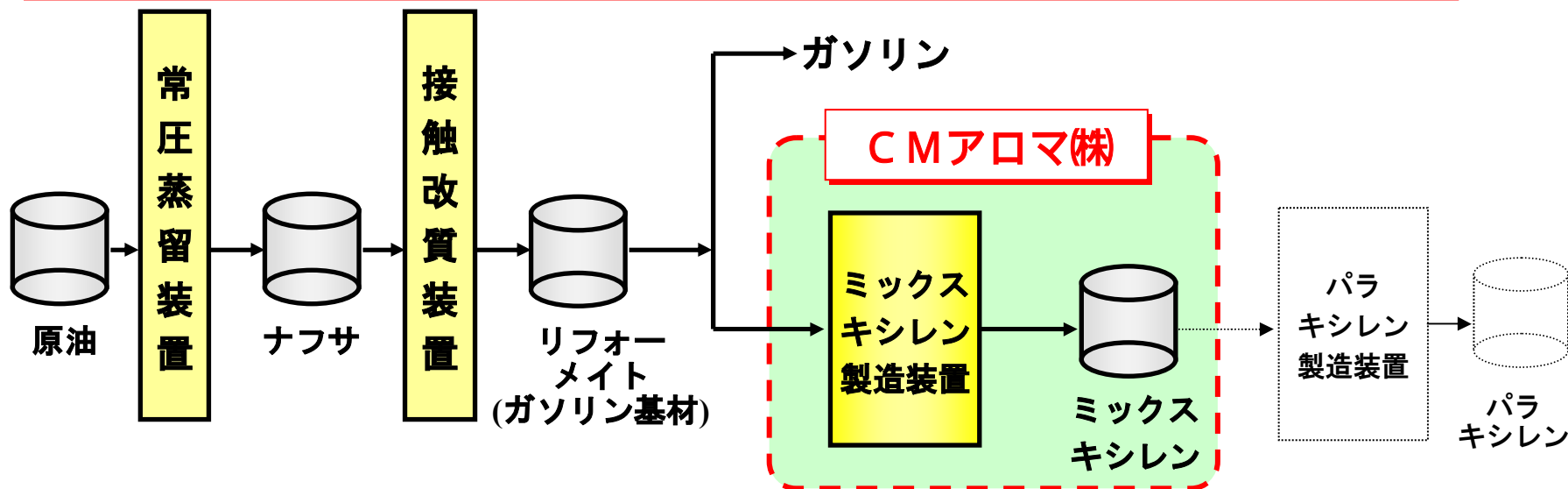
経営改善

店別アクションプログラムの
実行促進



CM AROMATICS CO., LTD.

2007年度営業利益目標額 : 27億円



《CMアロマ(株)会社概要》

- ・設立: 2005年4月1日
- ・資本金: 1億円
- ・出資比率: コスモ石油65%
丸善石油化学35%
- ・代表取締役社長: 古藺雅英
(コスモ石油常務取締役)
- ・事業内容: ミックスキシレンに関する
原料調達、製造、貯蔵、販売

《CMアロマ(株)事業内容》

- ・2005年7月目途
丸善石油化学(株)千葉工場内のミックスキシレン製造装置(10万トン/年)を譲受。
ミックスキシレンの製造・販売を開始。
- ・2006年7月目途
27万トン/年に能力増強。
(コスモ松山石油～3万トン/年～と合わせ
Gr生産能力30万トン/年となる)

《主要な開発会社の概要》

※株主構成は2005年4月1日現在

		アブダビ石油	ムバラス石油	カタール石油開発	《持分法会社》 合同石油開発
中計期間中平均生産量(B/D)		18,000	8,500	7,300	16,000
株主構成(%)	コスモ石油	62.6%	--	85.2%	35.0%
	アブダビ石油	--	100.0%	--	--
	その他民間	37.4%	--	14.8%	65.0%
07FY損益計画 (億円)	売上高	231	104	116	178
	経常利益	97	51	25	95
	当期純利益	26	17	6	32

★カタール石油開発

2005年度中の生産開始を目指して現在開発作業中。
(プラットフォーム建設、生産井掘削等)。

<商業生産計画概要>

生産期間：2005年～2016年

生産量：初期 約 6,000BD
最大 約10,000BD

原油性状：A P I 約40度

出荷：カタール半島よりカタール原油として出荷

鉦区位置図



【初年度予想】2005年度業績予想の概要

初年度- 1

《2005年度業績予想》

単位：億円

	連結		単体	
		前期比		前期比
売上高	21,600	54	19,700	50
営業利益	710	53	400	▲ 74
(在庫影響除き営業利益)	(750)	(219)	(440)	(92)
経常利益	700	68	380	▲ 37
当期純利益	320	56	210	73

《主要子会社/セグメント別営業利益》

単位：億円

		営業利益	
			前期比
主要子会社別 営業利益	アブダビ石油	152	26
	ムバラス石油 (注)	69	69
	販売子会社	27	7
	コスモ石油ルブリカンツ	17	7
	コスモ松山石油	11	▲ 6
事業セグメント別 営業利益	石油事業	480	▲ 67
	石油開発事業	220	100
	その他事業・消去等	10	20

※ムバラス石油前期比は連結決算取り込みベース

《業績予想の前提》

		通期前提
原油FOB		38 \$/B
為替		105 円/\$
総販売数量 (前期比)		98.9 %
内需 販売数量 (前期比)	ガソリン	100.3 %
	灯油	101.9 %
	軽油	97.0 %
	A重油	99.3 %
	四品計	99.5 %
	ナフサ	99.7 %
	ジェット	98.2 %
	C重油	92.1 %
合計		98.7 %

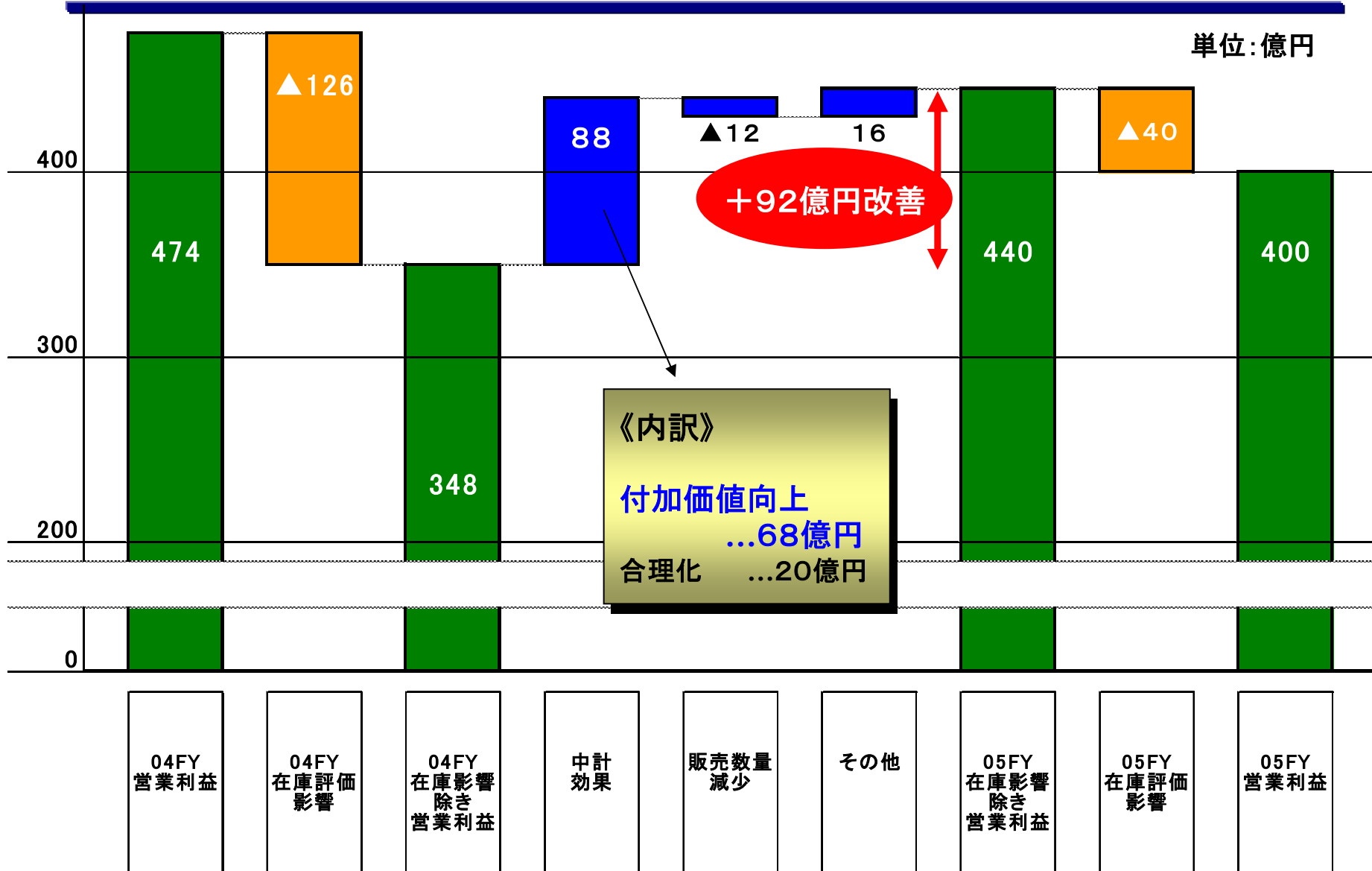
《配当》

一株あたり配当 (円/株)	8 前期比±0
---------------	---------

【初年度予想】単体・増減要因別明細

初年度-2

単位: 億円



単位:億円

区分	部門	05FY 目標改善額
付加価値 向上	供給	28
	販売	39
	その他	1
	小計	68
合理化	供給	17
	その他	3
	小計	20
総合計		88

補足資料

《中期計画全体(3ヶ年)関連 補足資料》

- ・財務諸表ダイジェスト(連結・単体)
- ・単体収益改善額 要因別分析
- ・子会社・関係会社収益計画明細

《初年度業績予想関連 補足資料》

- ・連結EBITDAの推移

【中計】財務諸表ダイジェスト(連結・単体)

補足 1

※単位:億円, %

	連結				単体			
	04FY 実績	05FY 計画	06FY 計画	07FY 計画	04FY 実績	05FY 計画	06FY 計画	07FY 計画
売上高	21,546	21,600	18,900	19,200	19,650	19,700	16,300	16,500
営業利益	657	710	770	880	474	400	460	560
経常利益	632	700	720	820	417	380	400	500
当期純利益	264	320	342	412	137	210	222	282
総資産	13,231	13,171	13,500	13,300	11,634	11,400	11,700	11,400
有利子負債額	4,978	4,662	4,480	4,280	4,608	4,247	4,150	4,080
株主資本	2,279	2,548	2,840	3,200	1,813	1,972	2,140	2,370
ROE	12.2%	13.3%	12.7%	13.6%	7.8%	11.1%	10.8%	12.5%
ROA	2.0%	2.4%	2.6%	3.1%	1.2%	3.7%	3.8%	4.9%
有利子負債依存度	38%	35%	33%	32%	40%	37%	35%	36%
株主資本比率	17.2%	19.3%	21.0%	24.1%	15.6%	17.3%	18.3%	20.8%

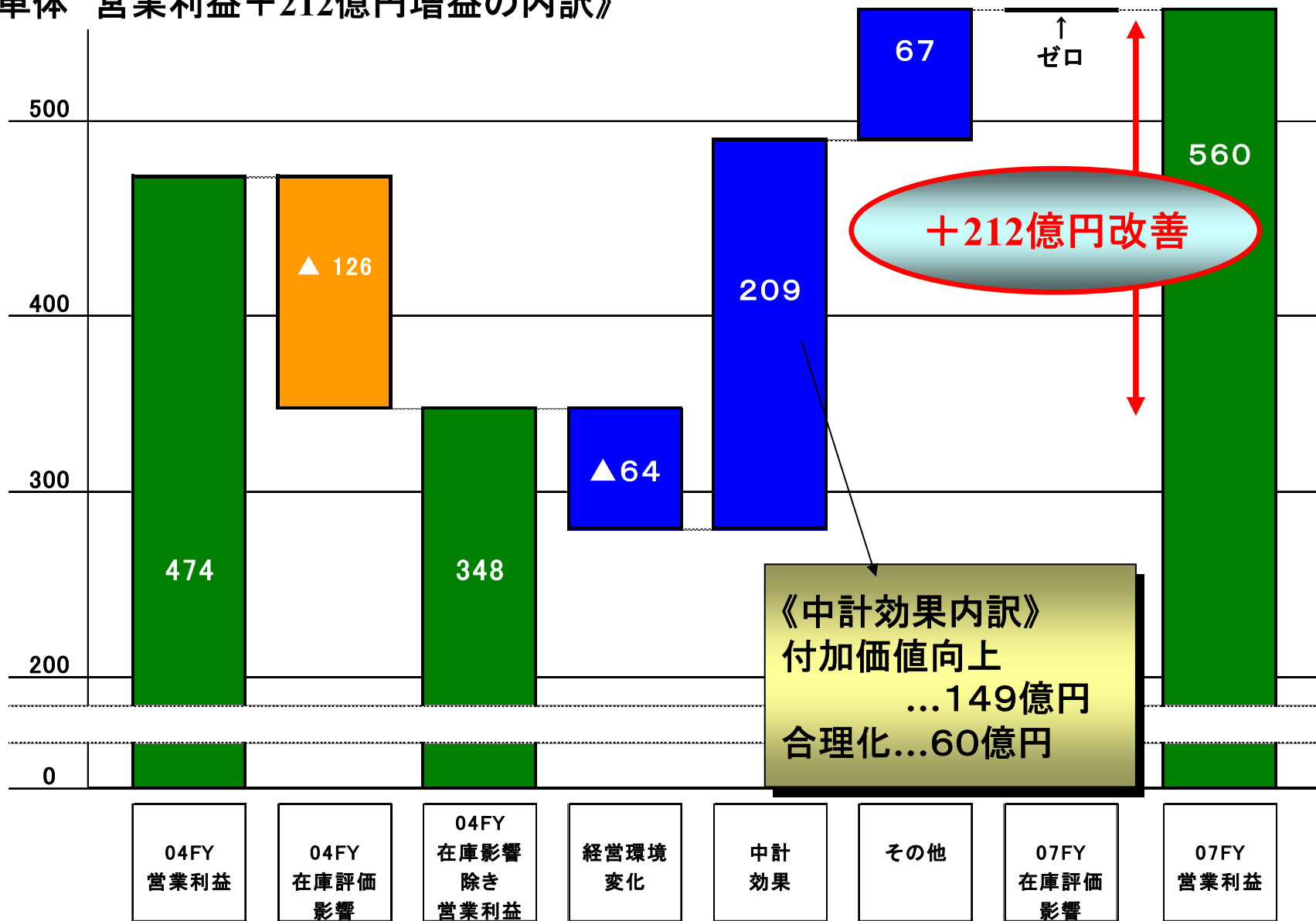
《在庫評価影響額除き》

在庫評価影響額	▲ 126	40	50	0	▲ 126	40	50	0
営業利益	531	750	820	880	348	440	510	560
経常利益	506	740	770	820	291	420	450	500

※在庫評価影響額:原価押し下げ要因(会計上利益の方が高い)時に符号マイナス

【中計】要因別改善額(04FY対07FY。石油単体)

《単体 営業利益+212億円増益の内訳》



《子会社・関係会社別 営業利益》

※単位：億円

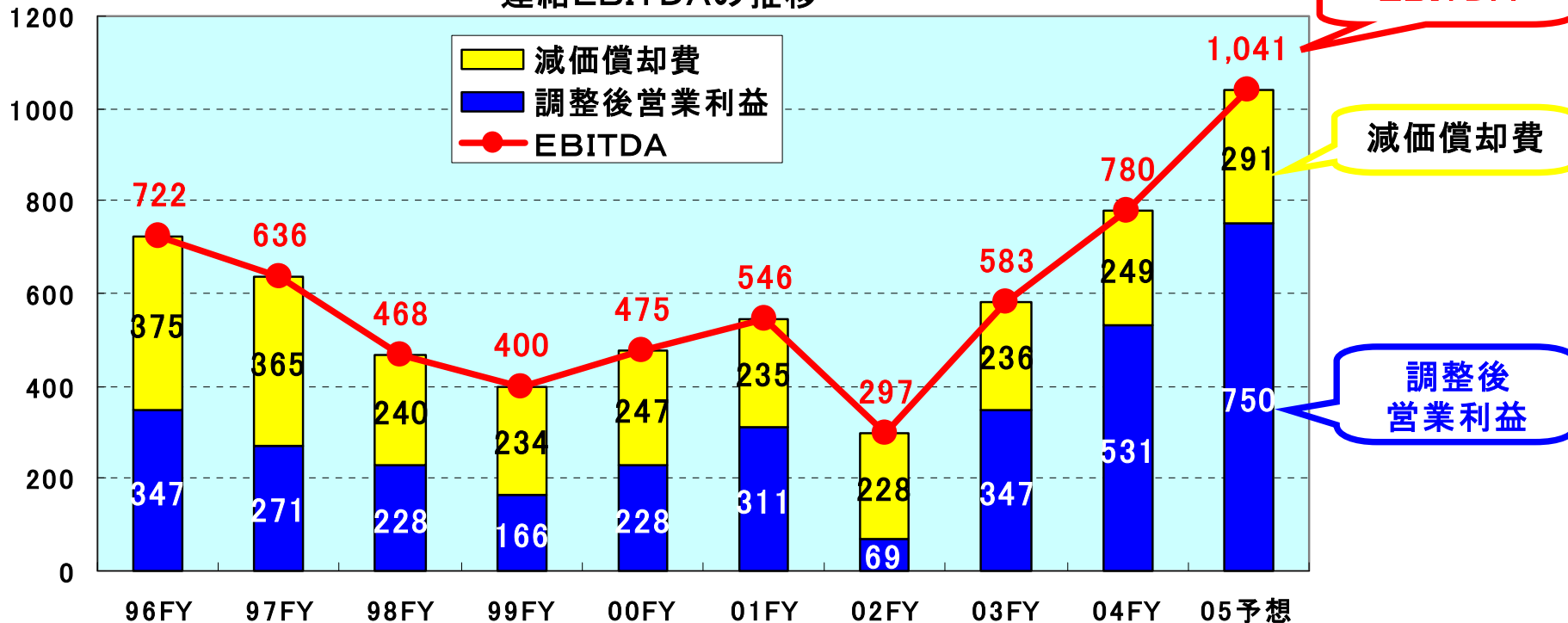
会社名		2004FY 実績	2007FY 計画	改善額
石油開発 会社	アブダビ石油	126	102	▲ 24
	ムバラス石油	(48億(注))	51	51
	カタール石油開発	----	31	31
	小計	126	184	58
コスモ石油ガス		20	27	7
子会社特約店		20	27	7
コスモ石油ルブリカンツ		10	20	10
コスモエンジニアリング		▲ 4	8	12
コスモトレードアンドサービス		5	12	7
コスモ松山石油		17	13	▲ 4
CMアロマ		----	27	27
その他(含：連結調整)		▲ 11	3	14
合計		183	321	138

※ムバラス石油...2004FYは持分法適用会社
(合計にはカウントせず)

【初年度予想】EBITDAの推移

※連結・在庫評価影響調整後ベース
 ※単位:億円

連結EBITDAの推移



	00FY	01FY	02FY	03FY	04FY	05予想
会計上の営業利益	366	221	242	252	657	710
総平均法による在庫評価の影響(注)	▲ 138	90	▲ 173	95	▲ 126	40
在庫評価影響調整後営業利益	228	311	69	347	531	750

※在庫評価影響額:原価押し下げ要因(会計上利益の方が高い)時に符号マイナス
 ※総平均法は2000年度から

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。